

<岸和田市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

24校に学校司書が、週に2日、合計12時間ずつ配置されている。

主に、読み聞かせ・ブックトーク・本の紹介・選書・本の貸し出しや返却・本の整理や修理等の活動をしてきている。この週に2日、合計12時間ずつ配置により、児童の読書活動の幅も広がり利用も増えている。とてもありがたいので、常時配置を希望。

必要に応じて、岸和田市立図書館から本の貸し出し、地域によっては、岸和田市立図書館からなかよし号巡回。

中学校

全校11校とも、週に2回ずつ学校司書が配置され、図書室の整備や本の整理やお知らせの掲示・新刊の搬入などの活動をしている。

1人の学校司書が2校を週2回（1回あたりは6時間）担当している。

熱心に新刊本の紹介をしたり、積極的に研修会に参加したりする学校司書もいる。週2回になり、図書館の活性化には、1回の時よりも、より大きく役立っていると思われる。週3回ぐらい配置されれば、読み聞かせやビブリオバトルなどの、読書教育的な取り組みもお願いできると考えられる。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

岸和田市学校図書館協議会に、
岸和田市内の全中学校と小学校が加盟

4月・・・総会

9月・・・読書感想文コンクール審査

会

12月・・・読書感想画コンクール審査

会

（役職等は、会長・副会長・書記・ブロック委員・読書感想文・読書感想画）

3. 学校図書館の具体的な活動例

- ・毎日、図書委員が図書室を開放
- ・図書委員のおすすめの本コーナーを設置
- ・季節のイベントや行事に基づいた飾りつけやポップの展示
- ・朝読書の場として活用

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について学校図書館に関して、特徴的なこと

全体的にカーペットを敷いている学校や、絵本コーナーを設置し、畳やカーペットを敷いている学校もある。児童・生徒がゆったりとした気持ちで読書ができるようにしている。また、机・椅子を用意し、放課後の学習の場として使用できるような環境づくりにも努めている。

毎年の本の選定に加え、今年度は多額の学校図書購入費が充てられていたため、例年よりも充実した選定となった。

主にNDCの10分類で図書を分類しているが、児童・生徒からの希望に基づいて、新しい本のコーナーや漫画等も備えることができた。

また、学級文庫の購入もでき、朝読書活動の活性化にもつながった。

<貝塚市>

- ・ 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート
 - ・ 学校図書館司書の配置（1小1中につき隔週1名）主に、本の貸し出しおよび返却、本の修理、本の紹介、授業に関する本の収集、読み聞かせ、図書室の整備、図書館だよりの作成等
- ・ 学校図書館関係の組織の形態と活動

貝塚市教育振興会 学校図書館部

概要：小中学校における学校図書館活動の充実を図る

実施時期：月1回

場所：貝塚市内の小学校、
または、貝塚市民図書館会議室

内容：各小中学校における図書活動の交流

図書活動の充実にむけた取り組み

5月：市教育振興会学校図書館部会開始

 - ・ 部長・副部長の選出
 - ・ 今年度の活動計画の作成

6月：「本とともにだちになろう」
(夏季休業前の配布プリント) のためのおすすめの本の選定について

7月：「本とともにだちになろう」
(夏季休業前の配布プリント) の作成

8月：こども本の森 中之島見学

10月：各校の図書活動の交流

11月：図書活動の充実にむけた取り組み

12月：研究授業（中学校）

 - 1月：年度末反省と来年度に向けて
 - 2月：なし
- ・ 市町村の学校図書館の具体的な活動例
 - ・ 本の貸し出しおよび返却
 - ・ 学校図書館部より課題図書の紹介と読書感想文の書き方を児童に配布（夏季休業前）
 - ・ 図書委員による学期に1回の「読書週間（月間）」の活動（読み聞かせ、おすすめの本の紹介、しおりづくり、ビブリオバトル等）
 - ・ 学校司書連絡会(年間9回開催)
 - ・ 市民図書館の館長や職員、学校司書、教育委員会指導主事をメンバーの会議を実施

4. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・ NDCに基づく10分類で図書を分類
- ・ さまざまな図書コーナー（新しい本コーナー、今月のおすすめコーナー、寄贈本コーナー、作家コーナー等）の設置
- ・ 地域ボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞かせなど
- ・ 学校図書館に新聞紙を常設新聞・新聞の閲覧台の寄贈

<泉佐野市>

- ・ 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート
 - ・ 学校図書館司書の配置
 - 小学校には週1回配置（日根野小、中央小は週2回）
 - 中学校には週2回配置
- 2. 学校図書館関係の組織の形態と活動
 - ・ 子ども読書活動推進連絡協議会
 - ・ 学校図書館担当者会議（学期に1回程度開催）
- 3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例
 - ・ 保護者、地域向けに学校図書館ボランティア募集のチラシを配布
 - ・ 中学校図書館の夏季休業中における地域開放
 - ・ 図書委員（文化委員）によるオススメ本の紹介
 - ・ 各学校の図書担当者がオススメ本の紹介文を作成し、まとめるなど、リーフレットを夏季・冬季休業前に児童・生徒に配布
 - ・ 本の貸し出し・返却
- 4. 学校図書館に関する特徴的なこと
 - ・ 地域ボランティアによる絵本の読み聞かせなど

<泉南市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- 学校図書館司書の配置は、泉南市で6名、3か月ごとにローテーション

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- 子ども読書活動推進連絡協議会
- 学校図書館担当者会議（学期に1回程度開催）

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- 日々の貸し出し業務<各校>
- 長期休み前に一人2冊貸し出し。
- 委員会のポスターや図書委員会による本の紹介
- 図書館だよりの発行
- ブックカバーをつける(教員による)
- 課題図書の循環
- 移動図書館（図書室の本をいつでも教室で読めるように20冊程度廊下においています。委員会の際に本を入れかえる）
- 図書室の季節掲示

4. 学校図書館に関する特徴的なこと

- 地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ

<阪南市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- 読書センターの機能充実だけではなく、学習センター・情報センターとしての環境整備を進めていくために、1校1名配置をめざしている。
- 学校図書館を中心として、図書館だよりの発行や読書週間、読書マラソン、タブレットを活用したおすすめ読書本の投票など、工夫した取り組みを考え、読書推進に繋がってきた。
- 全小中学校に「よみうりKODOMO新聞」、全中学校に「よみうり中学生新聞」、日刊紙を配置している。
- 希望校において「えほんのひろば」を開催している。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

阪南市子ども読書活動推進協議会

民間団体	はんなん子育てネットワーク代表
	子どもNPOはらっぱ代表
	社会福祉協議会代表
	阪南市子ども文庫連絡会代表
	阪南市みんなの図書館を考える会代表
学校関係	泉鳥取高等学校代表
行政関係	福祉部こども家庭課代表
	健康部健康増進課代表
	生涯学習部学校教育課代表
	生涯学習部生涯学習推進室代表
	生涯学習部図書館代表

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- 市教委主催研修学校司書研修（年間10回程度）（教育委員会+学校司書）

4. 学校図書館に関する特徴的なこと

- 学校図書システムについて、小中学校がネットワークでつながっており、相互貸借をデータ管理できる。
- 学校司書が主となり、学校司書研修を計画、実施している。研修の内容によっては、市立図書館との合同開催もある。

<泉南郡>

・ 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- <熊取町> ・学校図書館司書の配置
(全校に1名非常勤の配置)
 - ・連絡会を月1回開催
 - ・選書会を月1回開催
- <田尻町> ・学校図書館司書の配置
(全校に配置)
- <岬町> ・学校図書館司書の配置
(3小に1人)

・岬町お話の会の方が学期に1度来校し、お話会を実施している。

〈田尻町〉

- ・司書の先生による読み聞かせ
- ・図書委員会による読書啓発活動(読書の木)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

<熊取町>

①子ども読書活動推進連絡協議会

対象年齢別の部会に分かれ、年2、3回研究会や情報交換を行う

- ・「学齢期子ども読書活動推進連絡会」の開催
図書館・学校(各小中学校図書館担当教員・学校図書館司書)・学校教育課が、各学校の取組みについての報告や、情報交換、研修会を行う。
- ・「おはなしキャラバン」(1年~4年生)
保育所・小中学校の子どもたちに対し、文庫連が、絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行っている。

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

<熊取町・岬町・田尻町>

- ・朝読活動時間を設けている。
- ・年度初めにすべての子どもにオリエンテーションを実施し、学年に応じた図書室の利用の仕方等について指導する。
- ・図書館だよりの発行

<熊取町>

- ・「熊取町図書館を使った調べる学習コンクール」を実施し、子どもたちの情報活用能力を育成する。

4. 学校図書館に関する特徴的なこと

<熊取町>

- ・住民団体・関係機関・町の関係部局が連携して、子どもの発達段階をふまえ、身近な読書環境の充実を図っている。

〈岬町〉

<泉南地区 コンクール活動>

<読書感想文コンクールについて>

(岸和田市)

小：9月5日(火) 15時30分～
岸和田市立城北小学校
岸和田市内の小学校の図書主任を集め行う。
中：9月5日(木) 15時00分～
岸和田市立桜台中学校
(例年は岸和田市教育センターで行っている)
岸和田市内の中学校教科研究部会図書館部の部員を集めて行う。

(貝塚市)

地区審査の担当者 宮脇大貴(貝塚市教育委員会学校教育課)
地区審査の概要 2回の読書感想文実行委員会を開催
第1回は小中合同の開催。実施要項や今後のスケジュールの確認を行う。
第2回は小中別で審査会を実施。読み合わせと選定、賞状の配付を行う。
小：9月3日(火) 16時～ 貝塚市立中央公民館

(視聴覚室)

中：9月3日(火) 16時～ 貝塚市立中央公民館

(講座室3)

(泉佐野市)

小：9月4日(水) 15時00分～
泉佐野市立中央図書館
中：9月13日(水) 15時00分～
泉佐野市立中央図書館
各小中学校で選出された作文の中から、自由図書と課題図書の代表作品を決定する

(泉南市)

小：9月11日(水) 16時～ 雄信小学校
(辻内 朋代)
各校で選出された低・中・高学年、自由図書と課題図書の代表作品を提出
選定日までに各校で全作品に目を通しておき、選定日に泉南市の代表を決定
賞状は市で作成する。各校で名前を記入し、表彰する。
中：中学校での読書感想文コンクールは実施されない。

(阪南市)

担当者 小川哲司(阪南市立舞小学校)
小：9月10日(火) 市内の各小学校から1～2名ずつ集まり、低・中・高のブロックに分かれて行う。
中：市内の各中学校から担当者が集まり実施。

(泉南郡(熊取町・田尻町・岬町))

小：9月20日(金) 15:00～田尻小学校
中：9月13日(金) 熊取北中学校

<読書感想画コンクールについて>

(岸和田市) 12月に市内審査会実施。
(泉南郡(熊取町)) 一部中学校で実施。